

日本ウズベキスタン・シルクロード財団主催、東洋大学共催 文化観光フォーラムを開催 15名×各12分の「オムニバス・トーク」

一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団は東洋大学の共催にて、2015年7月27日(月)13時～17時30分(受付開始12時30分)に、東洋大学井上^{いのうえ}了^{りょう}ホール(文京区白山)にて、**シルクロード東京 文化観光フォーラム <2015年夏 東京>「新シルクロード・ディスカバリー 日本～中央アジア～ヨーロッパ」**を開催します。

後援は外務省、観光庁、日本政府観光局(JNTO)、(一社)日本旅行業協会(JATA)、文京区。協力は駐日ウズベキスタン共和国大使館となっています。

15名の方が、それぞれの専門や関係などを12分間で熱く語る「オムニバス・トーク」(日本語)の方法で行います。

会場は700名収容、事前の申し込みは不要で入場無料です。

また、会場のロビーでは写真展示やウズベキスタンのシルクなどのチャリティーバザールを開催します。

今回の文化観光フォーラムは、観光関連の学術・教育や実務関係者を始め、文化観光・旅行に興味関心のある一般の方にとっても、「シルクロードを軸にした日本～中央アジア～ヨーロッパの文化観光に関する情報やその魅力」の一端に触れることのできる良い機会です。主催者の一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団は、日本とウズベキスタンとのシルクロードを通じた長い歴史的関係を活かしながら、スポーツを含む文化、芸術、学術、教育、科学技術および観光振興、国際交流・経済対話促進の活動を行っています。共催者の東洋大学においては、文部科学省平成26年度「スーパーグローバル大学創成支援 タイプB(グローバル化牽引型)」認定の時宜を得た開催となっています。



ウズベキスタンとシルクロード

- 中央アジア
- シルクロードと関連ルート
- 世界遺産「シルクロード：長安＝天山回廊の交易路網」

ウズベキスタンの四つの世界遺産

- 1 世界遺産 ヒヴァイチャンカラ 1990年
- 2 世界遺産 プハラ歴史地区 1993年
- 3 世界遺産 シャフリサープス歴史地区 2000年
- 4 世界遺産 サマルカンド・文化交差点 2001年

(地球地図：NASA World Wind 高度約1万km)

©日本ウズベキスタン・シルクロード財団

◆ 1 本財団の目的と事業

(目的) この法人は、文化、芸術、学術、教育、科学技術及び観光の振興並びに国際交流及び経済対話の促進に関する事業を行い、ウズベキスタン共和国及び日本その他諸外国における文化、芸術、学術、教育、科学技術及び観光の振興並びに国際交流及び経済対話を促進し、ウズベキスタン共和国と日本の協力関係の強化及び発展に寄与することを目的とする。
(事業) この法人は、その目的を達成するため、次の事業を行う。 (1) 文化、芸術、学術、教育、科学技術及び観光の振興に関する事業 (2) 国際交流の促進及び経済対話の促進に関する事業 (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

◆ 2 平成 27 年度体制 (各アイウエオ順・敬称略) 2015 年 7 月 1 日現在

名誉顧問	森 喜朗	元首相、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長 自民党ウズベキスタン議員連盟名誉顧問
------	------	---

◆ 評議員 10 名

役 職	氏 名	(現 職)
評議員長 (会長)	海老沢 勝二	元NHK会長
評議員	奥島 孝康	早稲田大学名誉教授
評議員	玄葉 光一郎	民主党ウズベキスタン議員連盟会長
評議員	佐治 信忠	サントリーホールディングス株式会社代表取締役会長
評議員	關 昭太郎	NPO21 世紀大学経営協会副理事長
評議員	中山 恭子	元駐ウズベキスタン共和国特命全権大使、参議院議員
評議員	二階 俊博	自民党総務会長
評議員	日枝 久	株式会社フジ・メディア・ホールディングス代表取締役会長
評議員	松浦 晃一郎	前ユネスコ事務局長
評議員	渡部 恒三	民主党ウズベキスタン議員連盟名誉顧問

◆ 役員:理事6名・監事2名

役 職	氏 名	常勤・ 非常勤の別	(現 職)
代表理事	バヒリディノフ・マンスール	常勤	
理事	荻野 隆義	非常勤	国産自動車交通株式会社代表取締役社長
理事	神山 欣也	非常勤	海光電業株式会社代表取締役社長
理事	田波 耕治	非常勤	三菱東京 UFJ 銀行顧問
理事	松島 正之	非常勤	インテグラル・パートナーズ株式会社 シニア・アドバイザー
理事	松本 謙一	非常勤	サクラグローバルホールディング株式会社代表取締役会長
監事	林 和雄	非常勤	税理士
監事	本間 通義	非常勤	弁護士

中央アジア 「ウズベキスタン・シルクロード×日本」の発見!



コンポジション 2015 連携

シルクロード東京 文化観光フォーラム <2015年夏 東京> **入場無料** 事前申込不要

新シルクロード・ディスカバリー 日本～中央アジア～ヨーロッパ

①インバウンド（日本へ） ②アウトバンド（日本から）

2015年 **7月27日(月) 13:00～17:30** (受付 12:30～)

東洋大学 白山キャンパス 井上円了ホール 700席 東京都文京区白山 5-28-20

都営地下鉄三田線 白山駅(徒歩5分)・千石駅(徒歩7分)、東京メトロ南北線 本駒込駅(徒歩5分) 詳しくは東洋大学のホームページをご覧ください。お車でのご来場はご遠慮ください。
参加について：当日会場にて受付を行います。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。

15名×各12分の「オムニバス・トーク」日本語 **熱く語る?!**

- | | | |
|-------------------------------------|--|---|
| 1 梁 春香
(東洋大学国際地域学部 国際観光学科 教授) | 6 城之内 ミサ
(音楽家・東邦音楽大学特任教授・ユネスコ平和芸術家) | 11 ナターシャ・メルギチョーワ
(ウズベキスタン航空東京支店アシスタントマネージャー) |
| 2 守護 彰浩
(ハラルメディアジャパン株式会社 代表取締役) | 7 バヒリディノフ・マンスール
(日本ウズベキスタン・シルクロード財団 代表理事) | 12 島川 崇
(東洋大学国際地域学部国際観光学科 准教授) |
| 3 矢ヶ崎 紀子
(東洋大学国際地域学部 国際観光学科 准教授) | 8 長谷川 フジ子
(株式会社スズケン医療情報室 / 松本財団 Pharmaceutical Advisor) | 13 田辺 久司
(株式会社ユーラシア旅行社 部長) |
| 4 菊地 伸
(北海道東川町 交流促進課長) | 9 堀 信太郎
(UNWTO(国連世界観光機関) アジア太平洋センター 事務局長) | 14 寺田 直子
(トラベルジャーナリスト) |
| 5 林 成光
(奈良県 観光プロモーション課長) | 10 織田 晃
(ファッションジャーナリスト・杉野服飾大学 特任教授) | 15 藤井 敏信
(東洋大学国際地域学部国際地域学科 教授) |

今回の文化観光フォーラムは、観光関連の学術・教育や実務関係者を始め、文化観光・旅行に興味関心のある一般の方にとっても、「シルクロードを軸にした日本～中央アジア～ヨーロッパの文化観光に関する情報やその魅力」の一端に触れることのできる良い機会です。主催者の一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団は、日本とウズベキスタンとのシルクロードを通じた長い歴史的關係を活かしながら、スポーツを含む文化、芸術、学術、教育、科学技術および観光振興、国際交流・経済対話促進の活動を行っています。共催者の東洋大学においては、文部科学省平成26年度「スーパーグローバル大学創成支援 タイプB(グローバル化率引型)」認定の時宜を得た開催となっています。

◇主催：一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団 ◇共催：東洋大学

お問い合わせ：日本ウズベキスタン・シルクロード財団(会員センター) TEL:03-5901-9563

シルクロード東京 文化観光フォーラム

<2015年夏 東京>

参加費無料
(当日受付)

開催日時	2015年 7月27日(月)13:00~17:30 (受付 12:30~) ※各クルー実施中の入退室はご遠慮下さい。
会場	東洋大学白山キャンパス 井上円了ホール(700席) 東洋大学井上記念館B2F:東京都文京区白山 5-28-20 ◇主催:一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団 ◇共催:東洋大学

<内容・方式>	決められた短時間の中で熱く語る「オムニバス・トーク」ひとり12分のトークを行います。
テーマ	「新シルクロード・ディスカバリー」日本~中央アジア~ヨーロッパ ①インバウンド(日本へ) ②アウトバウンド(日本から)

カンファレンスプログラム

◎ 司会 秋沢 淳子 (TBSアナウンサー)

◆開会 13:00-13:20	
○ 開会の辞	松浦 晃一郎 日本ウズベキスタン・シルクロード財団 評議員(前ユネスコ事務局長)
○ ご挨拶	竹村 牧男 東洋大学 学長
○ ご挨拶	ファルフ・トゥルスノフ 駐日ウズベキスタン共和国特命全権大使
○ ご挨拶	後援諸機関を代表して

◆カンファレンストーク 13:20-17:30 ※15名×ひとり12分間のトークを行います【日本語】

I 第1クルー(13:20-14:05)インバウンド観光セッション

発表者	所属・職業等	タイトル(予定)
1 梁 春香	東洋大学国際地域学部国際観光学科 教授	日本からみた観光対象としてのシルクロード
2 守護 彰浩	ハラールメディアジャパン株式会社 代表取締役	日本のインバウンド観光とハラール:現場の声から聴く
3 矢ヶ崎 紀子	東洋大学国際地域学部国際観光学科 准教授	わが国のインバウンド観光政策について

II 第2クルー(14:15-15:10)インバウンド観光セッション

発表者	所属・職業等	タイトル(予定)
4 菊地 伸	北海道東川町 交流促進課長	北海道東川町とウズベキスタンの交流
5 林 成光	奈良県 観光プロモーション課長	シルクロードの終着駅としての奈良県の魅力
6 城之内 ミサ	音楽家・東邦音楽大学特任教授・ユネスコ平和芸術家	シルクロードへの郷愁~旅する楽器たち
7 バヒリディフ・マンズール	日本ウズベキスタン・シルクロード財団 代表理事	日本ウズベキスタンの文化芸術交流活動の10周年を目指して

III 第3クルー(15:20-16:15)アウトバウンド観光セッション

発表者	所属・職業等	タイトル(予定)
8 長谷川フジ子	株式会社スズケン医療情報室 松本財団 Pharmaceutical Advisor	ウズベキスタン共和国の総選挙での公式国際監視委員を体験して
9 堀 信太郎	UNWTO(国連世界観光機関)アジア太平洋センター 事務局長	シルクロード観光におけるクリエイティブ・ツーリズムの可能性について
10 織田 晃	ファッションジャーナリスト・杉野服飾大学特任教授	21世紀モードとウズベキスタン
11 ナターシャ・メルギチョワ	ウズベキスタン航空 東京支店 アシスタントマネージャー	ウズベキスタン航空について

IV 第4クルー(16:25-17:20)アウトバウンド観光セッション

発表者	所属・職業等	タイトル(予定)
12 島川 崇	東洋大学国際地域学部国際観光学科 准教授	航空路線戦略と中央アジア
13 田辺 久司	株式会社ユーラシア旅行社 部長	ウズベキスタンを中心とした中央アジア諸国への旅の可能性
14 寺田 直子	トラベルジャーナリスト	時空間を超えて心に響いた「アスルラル・サドシ」
15 藤井 敏信	東洋大学国際地域学部国際地域学科 教授	【サマルカンドに行こう】サマルカンドの可能性-内陸世界の復権

◆閉会 17:20-17:30	
○ ご挨拶	福川 伸次 学校法人東洋大学 理事長
○ 閉会の辞	バヒリディフ・マンズール 日本ウズベキスタン・シルクロード財団 代表理事

ご注意:掲載の情報は2015年6月30日現在のものです。カンファレンスプログラムの内容は予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。
マナーの遵守:聴講者としての一般的マナー遵守をお願い致します。ご入場について:会場が満席となった場合は、ご入場をお断りすることがありますので、予めご了承ください。